

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

早寝早起きが人柄を作る 大橋 洋治 (全日本空輸会長)

1. 私は遅くとも 3 時 45 分には必ず目が覚めます。ただ、実際に起き上がって身も心もシャンとするのは、4 時 15 分くらいです。それまで顔も洗わず、今日は何をしようかと考えたり、一日のスケジュールを思い起こしたりしています。夜は案外と早いので、11 時にはもう寝ています。睡眠時間は 4 時間ちょっとです。
2. 心の支えになったのは読書です。備中松山藩の陽明学者・山田方谷は、佐藤一斎門下で、佐久間象山と双壁をなした人です。私はその高潔で一途な生き方の山田方谷が、「総じて善く天下を制する者は、事の外に立って、事の内に屈せず」と言っています。つまり、大局を考えよということです。2002 年の JAL と JAS の経営統合は、まさに会社の死命を制する出来事でした。当初は、値引き競争でシェアを争ったりもしましたが、方谷の言葉を思い出し、「そうではない、お客様に快適で安全に乗っていただくことが大切だ」と思い至りました。
3. 決断というのは、結局は志というか、魂なんです。心はどうしても揺れるものです。それは仕方がない。ただし、志はきちんと固めて、魂を持ち続けるべきです。そして、早寝早起きの生活習慣が、人柄を作っていると思います。

(参考:「文藝春秋」2007 年 4 月特別号)

経営者のための経済学

生産「空洞化」に歯止めかかる

1. 「空洞化」という言葉を耳にする機会が減ってきた。日本の工場がなくなるとまでいわれた数年前とは様変わりである。「空洞化」を「企業による生産拠点の海外移管の結果、国内の雇用が失われる状況」と考えれば、1990 年代後半の日本はまさに「空洞化進行の時代」といえよう。1997 年度以降になると、アジア向け直接投資が増加の一途をたどるのに対し、国内の生産能力は減少に向う。
2. しかし、製造業全体では 2005 年度から空洞化に歯止めがかかり始めた。電気機械工業などは、国内の生産能力の増強と海外進出を同時に行なう、80 年代以来の第 2 期拡張期に入ったともいえる。少なくとも、日本企業の一部は、空洞化を乗り越え、国際分業の深化へと歩を進めつつあるようだ。(参考:「週刊ダイヤモンド」:2007 年 1 月 20 日号)

海外事情

中国の消費生活の変化

1. 中国の消費者保護団体は、毎年、消費者クレームの動向を発表しているが、そこには消費生活の質の変化がはっきりと映し出されている。2006 年の主なクレームの特徴を挙げると、①製品品質に関するもの 47% に対して、サービス品質に関するもの 46% と拮抗していること、②食品安全への関心が高まっていること、③モータリゼーションで、ガソリンスタンドでの給油に関する苦情が目立っていること、となる。
2. 補足すると、①ではデジタル製品関連が急増しているほか、速達小包関連が 74% の増加を記録している。②では、スーパーなどが食品安全表示に努力するようになっており、③ではガソリンの品質の問題である。(参考:「WEDGE」2007 年 5 月号)

古典に学ぶ

士は独立自信を貴ぶ

「士は独立自信を とうと 貴ぶ。熱に依り炎に付くの念起すべからず」

(訳) 丈夫には ますらお 依存心がない。自信を以て行動することを望む。権力にこびたり、富者に頼るなど他力を頼ってはならない。

(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)